

eLearning 法学検定

Windows®版 国内特許No.3820421号, 米国特許No.5888071号

法律知識ゼロからのスタートで合格を

宅建、行政書士、司法書士、社労士、税理士、これら主な資格試験の勉強はすべて法律の実践的知識を養成することにあります。何年も勉強してもこれらの試験に合格できない人の共通点は、基礎的な法律知識を持ち合わせていないことにあります。しっかりした法律知識が基礎的なことから備わっていれば、つまり法学検定4級の実力があれば、どの資格試験でもきわめて容易に合格することが可能となるでしょう。

当TLTソフトは、法学検定試験と同様に4級・3級・2級（既修者認定）に分かれています。4級から始め、3級、2級（既修者認定）へと進めていけば、法科大学院への道も開けます。

NewtonのTLTソフトは、パソコンによる「習熟管理機能」「完全暗記機能」、それに膨大な学習を超速で進める「ワンタッチ入力システム」、習熟度判定による「合格番号表示」等の仕組みが認められ、国内特許（No.3820421号）及び米国特許（No.5888071号）を取得しました。

『合格保証制度』を付けられる理由

科目単位をスモールステップで確実に頭にすり込み、豊富な演習問題で解答能力を身につけ、「合格点」を十分に超える実力が養成されたとき、TLTプログラムが判定したとき、そのスモールステップの合格マークが学習履歴に記録されます。

全ての単元単位において受講生固有の合格番号が画面に表示されると、それはその範囲からどのような試験問題が出されようかと合格点が取れる実力がついてきているという証です。このようにスモールステップで全ての科目に合格番号が表示された時、「合格点を超える習熟」を全うした証拠といえます。もちろん、この段階で「本試験には合格」と自信がもてるでしょう。TLTソフトは完全習熟の積み重ねで、合格にアプローチします。

『合格保証制度』万一、不合格なら全額返還

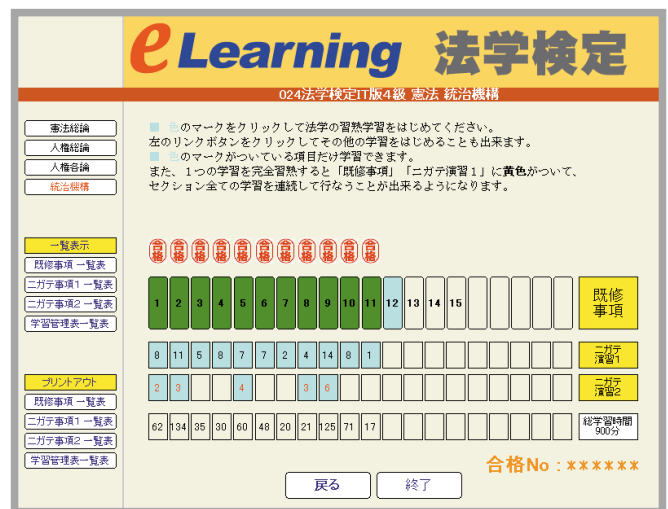
e-Learning契約期間内に全科目すべてに「合格保証番号」を表示させ、その全合格番号を専用ホームページから当社へご送信下さい。その後実施される本試験で万が一不合格になられた場合、お支払いになった e-Learning受講会員費を全額返還します。全合格保証番号が表示された方ならば、不合格はあり得ないと考えているからです。（合格保証番号送信フォームのホームページURLは、e-Learning受講開始の際にお知らせします）

パソコン学習だからできる超速習

TLTソフトでの学習は、すべてパソコンの画面上で行われます。受講者の実行力にもよりますが、TLTソフトでの学習は誰もが熱中してしまいますので、アツという間に時間が過ぎて「勉強」が飽きません。TLTソフトは、これまでに経験したことのないパソコンを使ったリズムカルで超効率、超スピード習熟を可能にしました。

TLTソフトの『TLT』とは

TLTソフトとは、Testing（自分の実力をチェック）、Learning（知らない項目だけを学習）、Training（覚えるまで繰り返し演習）の頭文字をとったもので、Newton社が、多くの初心者でも容易に、自動的に『完全習熟』させてしまうことを追及して開発した、自動習熟システムソフトの名称です。



※ e-Learning法学検定サンプル画面

—動作環境—

- OS：Windows®XP日本語版が動作するPC/AT互換（DOS/V）機推奨
- CPU：Intel Pentium®（または同等の）プロセッサ300MHz以上
- メモリ：256MB以上
- HDD：空き容量2GB以上
- 解像度：解像度1024×768以上、256色以上の表示が可能な機種（65536色以上推奨）
- 通信環境：インターネットに接続できる環境（ADSL・光回線などのブロードバンド環境推奨）

1 スピード習熟を可能にした「ワンタッチ入力システム」

TLTソフトでは、画面に表示される問題の『答』を入力する時に、長い『答』を打ち込むには時間もかかり、大変です。そこでTLTソフトでは、『答』の頭文字を入力すると『答』全体が入力されたとみなす機能を備えています。例えば、『答』が〔家族〕なら、〔KA〕と入れるとその時点で〔家族〕と表示されて、正解表示になります。そして、次の穴埋め、または説明文へと自動的に移行します。このように、頭文字の1文字を入力するだけでコンピュータは○×の判定をしてくれます。これが学習スピードを10倍以上にも上げる『ワンタッチ入力システム』なのです。

2 あなたの弱点項目を集中トレーニングする「習熟度管理機能」

最初にTestingでいくつかの問題が出題され、あなたが間違えた問題・弱点を見つけます。Testingでニガテと判断された問題を、Learningで例文・解説と一緒に、しっかりと理解するまで何度も繰り返し学習した後、Trainingで学習した問題が完璧に身についているかを再び確認します。LearningとTrainingを繰り返し、最終的には全てを完全習熟させてしまいます。このようにあなたの学習習熟度を管理するシステムにより、無駄なく着実に勉強ができるのです。

3 「忘却曲線応用システム」で100パーセント習熟

繰り返し出題されるといっても、同じ問題が何度も出てくるのではなく、出題形式や出題内容は少しずつ変化します。できたはずの問題が、しばらくしてまた出題されることもあります。これは、完全に覚えたと思っても、時間が経過したり、次から次へと新たな知識を吸収していくうちに、その記憶が希薄になり次第に忘れていくという有名な『忘却曲線』を応用したシステムで、TLTソフトではこのシステムにより、最後にはしっかり『頭にスリ込ませて』しまいます。

合格への学習計画

スモールステップで1項目ずつ完全習熟すると、最終的に全学習項目に合格番号が表示されます。総学習時間は個人差にもよりますが、4級は224時間、3級は322時間、2級（既修者認定）は640時間程度で合格点に達する習熟学習ができます。

- 例) 【4級標準244時間の学習計画】 ◆1日2時間学習…4ヶ月弱(112日) ◆1日3時間学習…2ヶ月半(75日)
- 例) 【3級標準322時間の学習計画】 ◆1日2時間学習…5ヶ月半(161日) ◆1日3時間学習…4ヶ月弱(108日)
- 例) 【2級(既修者)標準640時間の学習計画】 ◆1日2時間学習…11ヶ月弱(320日) ◆1日3時間学習…7ヶ月強(214日)

※学習項目は、バージョン・法改正により多少変わる場合がございます。

法学検定4級	法学検定3級	法学検定2級(既修者)
【法学入門】 法とは何か(法体系の基礎)／条文・判例の読み方の基礎／法的考え方(法解釈の基礎)／法制度論の基礎	【法学一般】 法体系／条文・判例の読み方／法的考え方／法制度論／法の諸分野	【憲法】 憲法総論／人権総論／人権各論／統治機構
【憲法】 憲法総論／人権総論／人権各論／統治機構	【憲法】 憲法総論／人権総論／人権各論／統治機構	【刑法】 刑法総論／刑法各論
【民法】 序論・総論／物権法／債権法／親族法・相続法	【民法】 序論・総論／物権法／債権法／親族法・相続法	【民法Ⅰ】 序論・総則／物権法
【刑法】 刑法の基礎／刑法総論／刑法各論	【刑法】 刑法総論／刑法各論	【民法Ⅱ】 債権法／親族法・相続法
		【商法】 商法総論・商行為／会社法／手形法・小切手法
		【民事訴訟法】
		【刑事訴訟法】
		【行政法】 行政法総論／行政救済法／行政組織法

お問い合わせ先